

日本発ドイツ便り～ドイツで初日の出～



Ein glückliches neues Jahr!
あけましておめでとうございます。

どんなお正月を過ごされましたでしょうか？

私は、この年末年始もドイツで過ごしました。

写真は、新年1月1日、飛行機の中から見た、ドイツの初日の出です。

この日、地上は天気が悪く、雪が降っていて、日の出は見られなかったのですが、ちょっと得した気分です。地上を覆い尽くす厚い雲の上の太陽は、感動の明るさと力強さでした。

なんで正月のそんな朝早くから、飛行機に乗ってるねん？というのはさておき。

今回は、いつもより一日早く12月30日にドイツに到着したので、久々に大みそか

(Silvester : ジルヴェスター) の過ごし方を思い出しました。

Silvester は、日本ではお休みですが、ドイツでは、通常の出勤日。お店は基本的に開いています。会社で働く人もいます。(もちろん、クリスマスから年明けまで休暇を取る人も多いです。) 午前中はいたって普通の日なのですが、午後になるとお店に人が押し寄せ、14:00頃になるとぼちぼち店じまいが始まり、遅くとも 16:00 頃までには、レストランを含め、ほとんどのお店が閉まります。



Silvester の主役 (?) 花火。好まれるのは、ロケット花火や爆竹といった賑やかなもの。
ドイツでは、確か 12 月 29 日から 31 日までしか花火は売っていません。
自分で花火ができるのは、多分 Silvester の夜 22:00 ~ 新年の 02:00 頃までです。

家族だけで静かに過ごすクリスマスとは異なり、Silvester はカウントダウン、パーティー、花火とイベント目白押し！街で出会う人やお店の人には、「guten Rutsch!:(グーテン・ルツチ!)」(良いお年を！に相当。意味は「うまく新年に滑り込んでね。」というものです。なんで滑り込むんだらう?)と声を掛け合います。夜の 20:00 頃になると、待ちきれない子供たちでしょうか？時々爆竹の音が響きます。☺

花火解禁の時間になると各地で爆音！一番賑やかなのが、24:00 のカウントダウン。爆竹の音、ロケット花火の音、打ち上げ花火の光で本当に賑やかです！(自称ヨーロッパの規模

というベルリン、ブランデンブルク門のカウントダウンには、一度行ってみたいですね・・・。)あとは飲んだくれて、翌日1月1日は祝日なので、昼ごろから活動開始、という感じでしょうか？道を覆い尽くすような花火や爆竹の残骸(なぜかドイツ人は日本のように自分で持って帰る、ということはしません。)は昼ごろには、もうきれいになっています。その掃除は市の担当です。(早く起きて、掃除される前に、不発弾を探して回るのが子供の楽しみだそうです。)そんな感じなので、多分「初日の出」なんて感覚はあまりないと思います。



とあるお城にあった「どんな花火も絶対禁止！」の看板。ドイツ人の良いところは、こうやって「禁止！」とされていることは、ちゃんと守ることですかね。

「なんで正月のそんな朝早くから、飛行機に乗ってるねん？」 乗る人がいなければ、必然的に運賃が安くなる！ということで、ドイツ便り、今年も続きます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします！